

20250624A894000



旧理事長 郡島 俊紀

新理事長

中尾 統一

おにぎりの会に関わり始めた20年程前、浄土真宗本願寺派の機関誌から取材を受けた事があります。「この活動を続けている意味は？」と。考えれば考えるほど頼りなく疑念が生まれてきて答えがわからなくなる。グルグルと迷走する。結局、何も答えられなかったことを覚えています。

数年前、地元で野宿している高齢女性がいらっしやると聞き訪ねたことがあります。一人ベンチに座っているその女性に、例えばこんな事を伝えようと声をかけました。「ホームレス支援おにぎりの会で活動をしています。何かお困りのことがあればお手伝いできることがあるかもしれません、何かお困りのことはないですか？」

話す間もなく即座にその女性がおっしゃったのは。「ご自分の頭の上の蠅を追い遊ばせ。」

わたしのように時々声をかける者に向け幾度となく返されてきた定型的な言葉。そんな響きでした。

貧困や孤独や、その女性の頭の上にたかっている困り事の蠅を追い払おうと近づいて行くわたしに、人のことを心配する前にあなたの頭の上にこそ蠅がたかっていますよ。そう言う意味でしょうか？

蠅とは？可哀想な人を前にした優越感。いいことをして褒められたいと社会的評価を欲する心。あなたの頭の上にはそんな蠅がたかっていますよ。その女性の真意を聞くことは出来ませんでした。そう言われたような気がしてスゴスゴと退散しました。

20年経った今も相変わらずぐるぐるぐるぐる迷走している私です。

しかし、この間、路上の方々、炊き出しに並ぶ人たち、一緒に活動してきた仲間たち。多くの人たちとの出会いの中で迷走してきた時間は20年前とは違ったところに私を連れてきています。迷うことはぐるぐるぐるぐる堂々巡りをしているようで、螺旋状に違うところに連れて行くのだと思います。

少なくとも我々が目指すおにぎりの会は完成された者が上から下に向ける憐みの活動とは違うでしょう。与えられる者も与える者も、届ける者も、受け取る者も。常に迷いながら変わりながら対等な関係性に向け試行錯誤しつづける、近づこうとする。そんな活動なのだと思います。

この活動に関わってくださる方々にはそれぞれが根本とされている何かがありだと思います。人権や福祉の問題としてのおにぎりの会、貧困、平等、平和、政治、そして宗教の問題としてのオニギリの会。路上で生活している人を前にして感じる素朴な疑問。そしてそれらの本物、本当の答えを求めておられるのだと思います。そしてそれらが深まり繋がった時、点と点とが線になり、線と線とが面になり、面と面とが立体となる。そんな深まりと広がりを持った活動、場所がおにぎりの会であればと思います。

この度、理事長を拝命いたしました、よろしくお願い致します。

通常総会報告

2025年5月20日19時～
美野島司牧センター 講堂(福岡市博多区美野島2-5-31)

事務局長 飛永 薫

本年は、2025年5月20日に福岡おにぎりの会の総会を開催しました。例年同様、総会に先立ち2024年度期間中に亡くなられた方を「偲ぶ会」を執り行い、一人の故人との思い出を語り合いました。



2024年度事業総括

基礎的支援事業については、炊出し夜回りを月2回(越冬期は例年通り毎週)行い、2023年度と同数程度の130～150名近くの方におにぎりや衣類、日用品などをお渡ししました。この炊出し夜回りは多くの方からの支援により活動しています。各企業や団体、NPOなどからも食品を含む様々な物品の提供を受けています。

また、多くのボランティアの参加と協力により、大きな事故等なく無事に一年間活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。

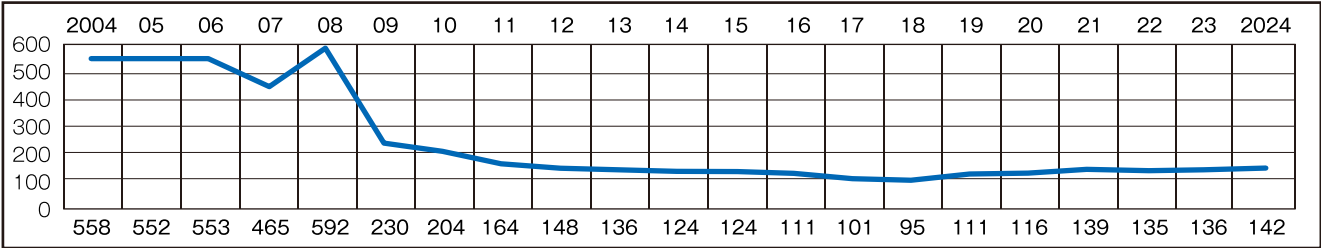
1. 基礎的支援事業

(1) 炊き出し夜回り

・4月～11月(毎月第1,3金曜日※コースによって5週目金曜日も実施) 12月～3月2週(毎週金曜日、スーパの会と協働)、3月4週目

市内10か所 炊き出し参加者人数報告												ボランティア	
年間 32回	美 野 島	天神	中央 公園	ベイサ イド	中洲 山王	大濠 舞鶴	東	空港	西	博多	合計	夜回り	調理
合計 人数	34 (40)	984 (1066)	610 (614)	202 (218)	1291 (1290)	448 (373)	511 (397)	0 (6)	226 (103)	82 (80)	4395 (4215)	2121	476

・実施日1回に出会った平均人数推移



※2021年1月頃より出会う対象者が約140名前後まで増加してきており、現在は横ばい傾向

(2) 季節イベント

- ・新緑のつどい : 2024年 5月11日 冷泉公園 牛丼、飲み物、お菓子など 114人
- ・秋まつり : 2024年 12月7日 冷泉公園 牛丼、ラーメン、飲み物、お菓子など 131人
- ・雑煮大会 : 2025年 1月13日 冷泉公園 お雑煮、飲み物、お菓子など 96人

(3) 食材等提供団体(敬称略)

- ・不二精機(株) ・聖公会福岡パウロ教会 ・浄土真宗本願寺派光照寺 ・平尾バプテスト教会
- ・浄土真宗本願寺派明光寺 ・フードバンク福岡 ・太宰府参道天山 ・カトリック二日市教会
- ・富士食品(株) ・チーム田中屋 ・大萩茗荷村 ・グリーンコープ ・肉のマルトミ
- ・浄土真宗本願寺派光圓寺 ・浄土真宗本願寺派萬行寺

(4) 物資提供

- ・毛布、寝袋、下着、衣類、石鹸、タオル、カイロ、アメニティ、薬(葛根湯、胃薬、湿布等)やマスク等を夜回り時に必要に応じて提供
- ・季節イベントや年末プレゼントとしてアメニティ、タオルや新品下着、肌着、靴下など提供

(5) 特記事項

- ・コロナ禍以降、炊き出し夜回りを月2回のペースで実施している。
- ・各寺院での供え物のお菓子や飲み物が届き、夜回りやイベントで配布

2・自立支援・相談支援事業 ※表の（）内は昨年度実績

事業	相談内容	累計	2023年度
自立支援	生活保護・年金等相談（生活保護に関する説明や相談、申請同行など）	209	148
	居宅相談（住所や家に関する相談、不動産紹介、住所設定、家具什器支援など）	429	344
	健康相談・入院支援（通院同行、病院との連絡調整、病気への助言など）	29	50
	路上生活相談（食糧や衣類の支援、路上生活における相談全般）	128	152
	就労相談（就労に関する相談全般）	2	6
	施設入所支援（施設の説明、施設との連絡調整、入所送迎など）	31	19
	法律相談（債務、滞納などに関する相談）	1	1
	人権相談（追い出し、暴力に関する相談）	0	4
	宿泊支援（宿泊支援時の体調確認、困りごとの確認）	536	320
	刑余者等相談（司法機関や本人からの相談、人権保護対応など）	144	293
	その他（路上生活をしている方の個別相談）	1	4
	自立支援合計	1510	1341
相談支援	生活保護・年金・社会保険等相談（生活保護に関する相談、年金申請支援など）	167	142
	見守り支援（訪問、聴き取り、電話等による関わりなど）	1754	1145
	居宅相談（保証人、緊急連絡先、家賃滞納などに関する相談）	204	229
	健康相談・入院支援（通院同行、病院との連絡調整、病気への助言など）	122	272
	地域生活相談（食糧支援、地域生活や施設生活における相談全般）	321	444
	就労相談（就労に関する相談全般）	20	32
	法律相談（債務、滞納などに関する相談）	47	57
	その他（金銭管理や買い物支援等、地域生活者の個別相談対応）	104	81
	相談支援合計	2739	2402
	総合計	4249	3743

2024年度、おにぎりの会の居住支援を受けた方は167名(125名)、そのうち施設入所等が3名(19名)、居宅設定等で地域生活に戻った方が115名(82名)であった。居住支援法人として福岡県に2022年8月に認可されて以降、路上からの相談だけでなく、ネットカフェや会社寮にいる住所不定者や、生活困窮のために家を追い出されそうになっている方など、相談経路が多様化している。また、昨年度同様に宿泊支援（ネットカフェなどの安全な宿泊場所の確保）も継続的に実施、当事者の身体的、精神的な回復が見られた。

また、保護観察所や検察庁、警察等からの刑余者や住所不定者に関する相談や、障がいのある方や児童養護施設退所者、子育て世帯、高齢者など相談者の属性も様々であり、さらに、相談内容も医療、福祉、法律、就労など多岐に渡ってきており、より専門性が必要となる相談が増加した。そのため、関係機関と連携を取りながら安定した地域生活を送ることができるよう環境調整を行った。

居宅設定後の見守りについて、おにぎりの会から居宅した方で遁走、逮捕拘留などの理由で退去した方について、本年度は4名と昨年度の5名より低下したものの、まだまだ地域生活に課題を持っている方がいると考えられる。今後の課題として、本人が抱える生活上の困り事に関して、積極的に関わることとし、個別的な対応として買い物支援や通院同行、関係機関への送迎などを行っていくことが必要だと考えられる。

（1）居宅者訪問

- ・おにぎりの会を通して居宅した方の安否確認の訪問活動。
毎月第2土曜日、全8回実施 訪問件数：延べ67件 参加者：延べ31名

（2）アカシアの会

- ・居宅された方の仲間づくりと憩いの場づくり。定例会は毎月第2木曜日に開催。全9回
4月食事会、5月食事会、6月食事会、7月食事会、8月素麺食事会、9月食事会、10月光照寺で焼肉大会、12月食事会とカラオケ、2月餅つき会。参加者は延べ60名。
メンバーの高齢化で年々減少しているため、居宅された方に声掛けし新規メンバーを募集している。

2024年度事業報告

3. 法人管理・運営

(1) 情報提供事業 <ホームページ・フェイスブック・LINE>

随時更新、情報発信を行った。ホームページへの炊き出し情報や路上脱出ガイドブックの掲載、携帯電話が停まってもおにぎりの会と直接連絡できるLINEなどを通じての相談の受付。

<発行物>

- ・おにぎりだより：炊き出し夜回り活動時に配布する野宿者向けチラシ。32回発行。
- ・機関誌「おにぎり」：45号（6月） 46号（11月）発行



(2) 対外活動・連携報告（敬称略）

- ・抱樸館福岡：施設入居相談支援、グリーンコープの炊き出し野菜寄附
 - ・巡回ふくおか：路上生活者の情報を共有
 - ・美野島めぐみの家：衣類や食品の共有、および情報共有
 - ・スープの会：カトリック大名町教会にて2月～3月2週目まで豚汁づくりを実施
 - ・福岡県ホームレス自立支援推進協議会：ホームレス自立支援計画の策定、各団体の活動報告
 - ・千鳥橋病院健康相談会：夜回り実施日第1週の健康相談会
 - ・福岡県警察：住所不定者の情報共有
 - ・福岡地方検察庁：不起訴処分となる方で住所不定者の情報共有、居住支援
 - ・福岡保護観察所：刑余者、更生保護施設入所者の情報共有、居住支援
 - ・カトリック大名町教会：炊き出し時の駐車場使用
 - ・フードバンク福岡：随時食品の提供
 - ・ホームレス支援全国ネットワーク：情報共有
 - ・福岡市社会福祉協議会：カイロ、食品の提供及び情報の共有
 - ・浄土真宗本願寺派光照寺：「覚え書き」を確認された方の遺骨の引き受け
 - ・福岡県、福岡市居住支援法人連絡協議会：居住支援に関わる関係機関とのネットワーク
 - ・福岡市若者支援団体ネットワーク：若者支援に関わる関係機関とのネットワーク
- その他、各企業や団体からの食品提供や物資の提供多数



特選ぶたキムチ弁当

(3) オンライン寄付プラットフォームの導入について

- ・クレジットカードなどでも寄付ができるSyncableを導入した。



2024年度決算報告および監査報告

<2024年度 活動計算書> (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

<貸借対照表> (2025年3月31日現在)

【事業毎】 (単位：円)			
勘定科目	2024年度予算	2024年度実績	今期摘要
I 経常収益の部			
1. 正会員会費	1,200,000	1,119,000	入金；842,000 未収入金；277,000
2. 賛助会員会費	420,000	411,000	
3. 寄附金・カンパ	6,500,000	8,618,046	
4. 受取助成金等	0	0	
5. 補助金	4,500,000	2,977,124	居住支援法人活動支援事業補助金
6. 雑収益	0	0	
7. 受取利息		3,620	預金利息
経常収益の部合計	12,620,000	13,128,790	
II 経常費用の部			
1. 事業費			
事業人件費	7,418,000	6,364,561	法定福利費、交通費込み
基礎的支援事業費	1,900,000	2,359,850	備品購入増
相談支援事業費	350,000	347,471	
人権保護事業費	10,000	5,439	
入院支援事業費	10,000	8,375	
自立支援事業費	750,000	1,424,130	宿泊支援込
情報提供事業費	760,000	740,017	
行政交渉事業費	10,000	6,800	
事業水光熱費	768,000	768,000	水光熱費のうち8割を計上
保険料	150,000	164,690	自動車保険料
減価償却費	434,500	434,500	自動車減価償却費
事業電話料金	110,000	109,109	電話料金のうち8割を計上
事業費合計	12,670,500	12,732,942	
2. 管理費			
管理人件費	620,000	526,496	法定福利費、交通費込み
退職給付費用	50,000	50,000	
管理水光熱費	192,000	192,000	水光熱費のうち2割を計上
事務・通信費	50,000	77,047	電話料金等
備品・消耗品費	200,000	188,624	プリンターインク等事務所備品
旅費交通費	5,000	12,362	車両費込み
会議費・慶弔費	5,000	5,000	
諸会費	20,000	22,000	全国ネット、フードバンク、めぐみの家
支払手数料	140,000	117,850	ゆうちょ受払、銀行振り込み手数料
租税公課	2,000	1,050	収入印紙代など
雑費	0	0	
管理費合計	1,284,000	1,192,429	
経常費用の部合計	13,954,500	13,925,371	事業費合計+管理費合計
経常収支差額	△ 1,334,500	△ 796,581	経常収益合計-経常費用合計
III. 経常外損益の部			
雑損失	0	150,000	前年度正会員費未収入金
当期損益金額	△ 1,334,500	△ 946,581	
前年度繰越金	12,946,761	12,946,761	
次期繰越活動資金	11,612,261	12,000,180	

科目		金額	
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産の部			
現金	194,719		
ゆうちょ銀行 受払口座	5,000		
普通預金 福岡銀行住吉支	11,696,878		
普通預金 西日本シティ銀行	2,251,030		
普通預金 ゆうちょ銀行	323,743		
現金預金合計		14,471,370	
未収金 (正会員費、Syncable寄付金)	440,158		
貯蔵品	6,446		
他流動資産合計		446,604	
2. 固定資産			
車両運搬具	869,000		
減価償却累計額	△ 724,166		
固定資産合計		144,834	
3. 投資その他の資産			
長期前払費用 (車両リサイクル預託金)	9,910		
投資その他の資産合計		9,910	
資産合計			15,072,718
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
未払金 (3月分給与・電話料金等)	527,900		
前受金 (正会員費前受)	72,000		
預り金 (所得税、社会保険料)	122,638		
流動負債合計		722,538	
2.固定負債			
退職給付引当金		350,000	
保証人バンク引当金		2,000,000	
固定負債合計		2,350,000	
負債合計			3,072,538
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		12,946,761	
期間正味財産増加額		△ 946,581	
正味財産合計			12,000,180

会計監査報告書

2025年5月6日

特定非営利活動法人
ホームレス支援福岡おにぎりの会
理事長 野島俊記 監

当会は、2024年度の特定非営利活動法人ホームレス支援福岡おにぎりの会の活動に關する会計監査を2025年5月6日(火)日本キリスト教団福岡中野教会に於いて実施しました。

その結果、活動計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載及び関係する証憑等と一致し、いずれも適正に処理されていたことを確認し、ここに報告いたします。

以上

監査 野田 裕一

2024年度活動計画

30年前、福岡市内に点在する野宿者に思いを寄せる少数からこの活動は始まりました。以来、その思いに呼応するボランティアの増加、心を寄せる人たちによる寄付や食材の提供によってお配りする食べ物の質、量ともに充実し、また広範囲に効率的にお届けすることができるようになりました。

暖かい豚汁も相変わらず好評で、また野宿者の方々の抱える問題、状況に対応するため専門的なスキルを持った人たちが加わり、医療や法律、居宅先や生活に対する相談業務も始まり、より充実したものとなりました。その過程ではそれぞれの経験が積み重なり、多くのノウハウが蓄えられてきました。

ピーク時には600人を超えていた野宿者もコロナ前には100人程度と減少し、現在140名程度と変遷しています。またその内容も野宿者だけではなく生活に困窮した人たち

が自宅から炊き出しに並ぶことが多くなっています。

刻々と変わって行く時代状況ですが、コロナ蔓延時に他団体が炊き出しを中止する中、少人数による月2回の炊き出しにするなど、野宿者を囲む状況にあわせ臨機応変に対応してまいりました。

今年度は越冬期間以外も月2回の炊き出し夜回りを継続することを決めています。また、炊出し夜回りに来られる方のうち、生活保護を受けている方は月末になるほど生活が苦しいという意見があり、野宿者を含めて当事者の意見を聞いた結果、今年度は第二週と第四週の金曜日に炊き出し夜回りを行うこととしました。

少人数から始まり、そこに集まる人たちによって広がり深まってきた活動です。これからも困窮する野宿者を主役とした活動であることを確認しつつ状況に応じ臨機応変に対応して行きます。

雑 感 事務局員 柴田 真希子

私は、今年度からおにぎりの会に入職しました。私とおにぎりの会との出会いは学生の頃で、約8年目になります。学生時代の卒業研究でホームレスについて調べていく中で、支援団体を知ったことがきっかけでした。おにぎりの会では、夜回り支援をしているとのことで、実際に参加しました。

改めて20年程前を振り返ると、小学生の頃から近くの複数の公園でホームレスの方々と出会い、身近に感じていたように思います。その時、ホームレスの方と他愛もない会話をしたり、ラジオを一緒に聞いたりして時間を共にすることも度々ありました。その時間は私にとって、友達と遊ぶ時間と同様に、有意義な感覚になっていたのを思い出します。もちろんその時にホームレスと言う概念はありませんでしたが、ただ私にとって楽しくて落ち着ける時間だったように思います。同じ公園を共有し、話をするのが楽しみな一面もあり、自ら公園に行っていました。もちろん何か物を持っていくこ



とはなく、ただ話しをしたり、聞いたりしていたのです。その時間と空間が、私の居場所の一部として感じられ助けられていたように思います。

学生時代から今年春に至るまで継続的にボランティアとして、活動に参加しました。毎回、出向く支援をすることで顔見知りになり、いつもの人がいつものところで病気などせずに变りなく居られると、「またお会いできましたね」と思いました。変化がないことが必ずしも良かったという意味ではなく、居られなければ「どうかしたのかな？」と気になる自分がいました。各々の抱えている気持ちや感情、事情や経緯、考え方により優先順位があり、それぞれの枠があるように思いました。そうして活動していくうちに、各々の生活の基準や根源を理解し、さらに幅広く深く知りたいと思うようになりました。

今年春におにぎりの会に入職し、居住支援や近況伺いの訪問支援等の業務に従事しています。継続して定期的に訪問し、体調面の変化等を伺い、雑談をしながら、生活状況を把握することで変化があった時に気付けるように経験を積んでいきます。困ったことがあれば気軽に相談する先として、思い出してもらえる存在になれるように関わりを継続し、地域の中で生活上困らないようにサポートしていきたいと思っています。



おにぎりの会
お物博まラーメン
もちろん 替え玉も!!

独り（ホームレス）を知ってからの喜び

天神コース 中村 弥

私がおにぎりの会や、他の炊き出し団体のお手伝いをするようになって、もう4年経ちます。路上生活をしていた頃に喉頭癌が見つかり、3カ月間闘病生活を送り、その後アパートに住み始めました。入居した頃は、まだまだ体調が整わなかったこと、また、お金が無かったので炊き出しにはご飯をもらいに来る側として参加していましたが、そのうち、少しでも恩返しがしたいと思い、炊き出しのお手伝いをするようになりました。福岡市は、ほぼ毎日どこかの団体が炊き出しをしています、私はいろんな団体にお世話になったので、できる限りたくさんの団体をお手伝いしたいと思い、参加しました。最初の頃は、病気で体力が落ちていたことで体がきつかったり、団体毎に炊き出しのやり方や考え方が違うのでとまどいながらも、だんだんと団体のスタッフと打ち解けることができてきました。また、参加する期間が経つに連れ、団体のスタッフの方から信頼をもらえるようになり、それがやりがいになっていきました。

私はホームレス経験が4年ほどあります。1度目は、約10年勤めていた長崎の旅館をクビになり、仕事を求めて福岡市に出てきましたが、なかなか仕事が見つからず、お金も無くなり、相談する相手もない状況の中でホームレス生活となりました。『何とかなるだろう』という気持ちがあり、少ない所持金で路上生活を送り、恥ずかしさから炊き出しには行きませんでした。食事は少ない所持金の中でやりくりをし、廃棄のお弁当を取って凌いでいました。しかし、お弁当も取り辛くなり、何日も食事をすることができなかったので炊き出しに行く決意をしました。炊き出しに行くことが恥ずかしく、他の方（利用者も、支援者も）とは一切話せませんでした。話しかけられても下を向いて拒みました。とにかく、嫌でしょうがなかったのです。炊き出しに来る人の目だけでなく、一般の方からの目もあり、見られることが辛かったので、食事をもらったらすぐにその場を離れていました。そのうち、何度か炊き出しに行くにつれて、だんだんと慣れてきたことで、炊き出しに来る人



とも話ができる様になり、炊き出しに行けるようになりました。そんなとき、生活保護を受けないかと支援者から言われ、一時期は不安が強かったので断っていましたが、施設に入所して生活保護を受けるようになり、ホテルでの仕事に就くことができました。その後、アパートを借りて自立し、笑顔で施設を退所しました。しかし、会社が倒産、仕事がなくなり家賃も払えずに再びホームレス生活となりました。

二度目のホームレス生活は『まさかまた戻るとは…』というショックが大きく、なかなか立ち上がることができず、炊き出しも行くことができませんでした。二度目だったこともあり、より一層気持ちが落ちてしまい、誰かに相談することもできませんでした。そんな生活をしていたところ、喉頭癌が見つかり、今に至ります。

私にとってホームレス生活は『予期せぬ出来事』でした。私は、炊き出しに並ぶ人達を見下していました。

でも、まさか自分がホームレスになるなんて、炊き出しに行くなんて、思っても居ませんでした。そんな自分を『炊き出し』は受け入れてくれました。そしてそこには人がいてくれました、独りじゃないんだと知ることができました。

もともと、炊き出しのお手伝いは恩返しとして始めました。

けれども、今では『誰かと繋がることのできる居場所を守っている』という気持ちになっています。それが、4年間続けてきたモチベーションになっています。

今でも不安になることはありますが、自分がいつホームレスになるのか、という恐怖があります。

しかし、人と繋がることで自分を保つことのできる、そんな居場所があることを知りました。この居場所はとても大事です、僕にとってはとても大事です、独りじゃないということを知ると前に進もうという気持ちになることができます。これはホームレス生活をしていた頃には無かった気持ちです。

この気持ちは僕にとって回復のための特効薬です。



会費・寄付者一覧

テレホンカード、お米、衣類、食品等のご寄付もいただきました。

みなさまのご支援によって活動が続けられることを、心より感謝申し上げます。
名簿の不備な点はお詫びいたしますとともに、ご連絡くださいますようお願いいたします。
今後ともご支援ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。(2024年4月1日～2025年5月31日まで)

カトリック福岡司教区、カトリック大名町教会、カトリック笹丘教会、カトリック笹丘教会 青年会、カトリック吉塚教会、カトリック高宮教会、カトリック西新教会、カトリック光丘教会、カトリック老司教会、8.15平和を建設する集い2024有志、青木 富美子、赤松 秀岳、浅野 直人、イーグル、一心寺、伊藤 直之・順子、伊東 洋子、井上 裕子、井上 芳正、井上 康市、岩本 乾治、上杉 賢、上田 幸子、嬉野キリスト教会 藤野 慶一郎、江浦 美恵子、江口 博美、大神 賢治、大野 晴雄、岡口 洋、緒方 國弘、岡本 菜穂子、小田 美鈴、小野 智実、オフィス61ぶんの19 さと ゆみ、戒宝寺、覚応寺 森山 英臣、笠 信暁、梶原 敬介、片峰 建二、梶島 敏雅、玉栄寺、株式会社 恵比須不動産、株式会社 アーラリンク、株式会社 モバテック、河口 千鶴、河越 智江、川本 雄二、教円寺 花園 正智、工藤 幸雄、黒田 博子、光照寺、合同会社サクスシェア、心の病の患者会 うさぎの会、小島 節子、齊藤 香子、齊藤 真由美、齊藤 皓彦、坂井 久男、相模 裕一、佐々木 悠、定永 晶子、山下 博美、信覚寺、信行寺 喜多村 紀子、新日本測量設計株式会社、周船寺幼稚園、住永 謙一、正善寺、専照寺 進藤 佳哉、善福寺 蒲池 公隆、泉林寺 嚮水 俊英、南野 森、だいち接骨院 上村 大地、田上 雅恵、託乗寺、竹中 市郎、多田 玲一、筑豊協力伝道奉仕会、長泉寺、月川 はる奈、寺尾 浩子、天女山 西教寺、藤円寺、林 隆一郎、鳥飼バプテスト教会、長崎外国語大学 宗教部、中島 義法、永田 陽子、中村 英子、中村 和男、名和田法律事務所 名和田 茂生、西福岡教会、株式会社 AZOX、日本キリスト教会 福岡城南教会、日本基督教団 八代教会、日本基督教団 九州教区総会、日本バプテスト連盟 かたえキリスト教会、発 由美子、原 道治、はるかぜ法律事務所 佐川 民、春口 和子、春山 美智代、半田 隆、平石 暁子、平尾バプテスト教会、平野 千尋、フィッシュ 明子、原山 映子、光隆寺 原 由孝、福岡組 仏教婦人会、福岡グリーンコープ自立労働組合、福岡女学院教会、福岡女学院大学 宗教部、福岡女学院中学校・高等学校、福岡玉川教会、福岡中央教会、福岡友の会、福島 久子、福岡キリスト教会、福元 英美、藤井 文子、船越 昭弘、前田 由樹、牧山 幸二、正木 顕、松尾 林、萬行寺、萬年 浩雄、三谷 淑美、成瀬 章吾、光森造園、宮崎 洋子、妙楽寺、村上 満里子、村田 直子、明光寺、森田 泰道、矢鋪 愛、安永 美保子、矢田 公美、八束 浩一、八幡 正弘、山口 進、山崎 博之、山本 晴太、山本 由美、弥生幼稚園、有限会社アッセル 木下 忠和、由良 美砂、吉川 隆介、吉田 一久、来光寺、和佐野 健吾、渡邊 一音、渡邊 而去、井上 郁子、医療法人社団 三彦会 山田内科胃腸科クリニック 山田 昌弘、永嶋 真奈美、遠藤 玄之、梶塚 洋美、梶島 聖子、丸尾 圭祐、隈部 一孝、桑原 美砂子、兼崎 暉、光隆寺 原 由孝、荒木 龍昇、三島 千尋、山岡 章子、山本 晴太、重永 侑紀、松尾 充子、松尾 春菜、浄恩寺 柴田 芳夫、新保 朋弘、真崎 昌文、瀬戸 まゆみ、正栄寺、西法寺 西村達也、青木 富美子、石村 重哉、川瀬 祥子、倉掛 直樹、太田 富雄、大内 絵美、中川 清昭、中村 久美子、中里 真一、田中 滋孝、南郷 寿、日本基督教団田川教会 志村 真、入門 真生、尾辻 佳郎、福岡第一法律事務所 星野 圭、福田 久美子、福本 由美子、有田 啓、有馬 泰治、緒方 明美、早川 寛、(有)総合福祉サービスアイル 赤尾 義貞、高山 ひとみ、宗教法人 教円寺、野田 小百合、はたもと商店 畠本 佳一、福岡エクレー法律事務所 春田 久美子、

※順不同敬称略 氏名記載の許可をいただいた方のみ表記しています。



メールでの情報配信を開始しました

この度、ご要望にお応えし会報などのメール配信を行うようになりました。
ご希望の方は、右記のQRコードにご入力いただくか、
①氏名②住所③メールアドレス④電話番号⑤会報等への
氏名記載の可否、をご記入いただき、事務局
(onigirinokai@gmail.com)までご連絡ください。
郵送をご希望の方は、これまで通り対応いたします。



いちども

炊き出しに行こう

いっちゃん?



なやんでいたら!
こまっていたら!

認定特定非営利活動法人ホームレス支援
福岡おにぎりの会

<http://www.onigirinokai.com>
onigirinokai@gmail.com



福岡おにぎりの会への相談の多くが食べることに困っているという内容です。

「炊き出しに行こう」カード

- そこで、福岡市若者支援団体ネットワークとの活動のひとつとして、福岡市内の炊き出し案内などが表示されるQRコード、おにぎりの会の簡単な案内などが記載されたカードを作り、天神の商業ビルにカードを設置しています。
 - 現在は、①ショッパーズのトイレの一部・②ソラリアステージのトイレの一部・③パルコの授乳室の一部です。
- 見かけたら、ぜひ手に取ってSNSなどで拡散してください。そして、街などで気になる方を見かけたら手渡していただけると助けになるかもしれません。

オンライン寄付は
下記QRより



私たちの活動を会員になって お支えください

正会員	年会費	12000円	税額控除なし
賛助会員	一口	3000円	税額控除あり

郵便振替口座 01770-5-130212

福岡銀行 住吉支店 普通 1541480

LINE



H.P



facebook



認定特定非営利活動法人ホームレス支援

福岡おにぎりの会

〒812-0017 福岡市博多区美野島 2-5-31
(美野島司牧センター内)

電話/ファクス 092-431-5785
(月・火・水・木 9:00~17:00)